



漂着ごみの中でプラスチック製漁具は多く見かけられる



砂を掘ると、砕けたプラスチックが次々と出現。ここでは食品チューブや容器の破片、ペットボトルのふたなど



ロープも多く、燃りがほどけて細片化する



ストローや園芸製品も多い



路上や家庭から軽いプラスチック製品が飛ばされてくる



破片はさらに微細化してマイクロプラスチック（5mm以下）となり、生物による誤飲など生態系に重大な影響を及ぼす



流木や木材片も特に荒れた天候の後には多くなる



今回の1時間の海岸清掃で回収されたごみは約200袋分